

## 令和7年度 学校経営報告書（自己評価）

学校番号	58	学校名	静岡県立掛川工業高等学校	校長名	中村 博志
------	----	-----	--------------	-----	-------

## 3 本年度の取組（ゴシック体は重点項目）

	取組目標	成果目標	達成状況	評価	担当部署
ア	生徒の基礎的な学力及び技術・技能の定着を図り学び続ける人の基盤作り	<ul style="list-style-type: none"> <li>・基礎力診断テストにおいて学年の45%以上が学習到達度C1以上。</li> <li>・「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒49.8%であった。教科間で連携し家庭学習の大切さを伝える必要がある。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「授業のある日は授業以外で1時間以上学習に取り組んでいる」と答える生徒49.8%であった。教科間で連携し家庭学習の大切さを伝える必要がある。</li> </ul>	B	教務課 進路課 各工学科 各教科
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・遠隔授業が必要な生徒に対しオンライン発信の常態化。</li> <li>・「各授業の目標と自身の取り組む課題がはっきりしている」と答える生徒80%以上。</li> <li>・生徒の「授業への満足度」80%以上。</li> <li>・自分が取得可能な資格・検定について理解している生徒100%。</li> <li>・技能検定20人以上、第2種電気工事士20人以上の合格者。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・長期欠席の生徒に向けた学習機会の確保を含めオンライン発信できる教員の割合が90%超えている。今後も研修や情報共有等が必要である。</li> <li>・授業のねらいがわかり満足している生徒の割合が90%を超えた。今後も見直しや改善を重ねる。</li> <li>・資格検定合格者 技能検定7人、 第2種電気工事士49人</li> </ul>	A	教務課 各工学科 各教科
イ	ICTの活用と「主体的・対話的で深い学び」の充実	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業に取り組んでいる教員100%。</li> <li>・一人一台端末の効果的な活用に資する授業公開を1回以上実施。</li> <li>・授業を参観した教員100%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ICTを活用した授業を実践している等と回答した教員の割合は90%以上であった。授業力向上に向け更なる研修等が必要である。</li> <li>・悉皆研修や授業公開週間で互いの授業を参観し合う体制が構築されている。</li> </ul>	A	教務課 広報情報 各工学科 各教科 事務部
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業以外で生徒が議論、協力、発信する場面を設定した教員80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校内外で生徒に発表する機会を定期的かつ計画的に実施できた。</li> </ul>	A	
ウ	計画的なキャリア啓発と個に応じた適切な進路指導の推進	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「生徒の希望や適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒・保護者90%以上。</li> <li>・進路実現100%</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の希望や適性を生かした進路指導、進路相談をしている」と答える生徒・保護者と回答した教員の割合は92%以上であった。進路実現は100%を達成した。</li> </ul>	A	進路課 各学年
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリアパスポート、ポートフォリオを有効活用し、各生徒の希望や適性に応じた進路指導を推進する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・進路課、学年を中心には生徒の諸活動や活躍の様子を記録した。</li> </ul>	A	

取組目標	成果目標	達成状況	評価	担当部署
エ  <b>豊かな人間性を持ち地域や産業界でリーダーとなる生徒の育成</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備を終えて授業・実習に臨む生徒 100%。</li> <li>「挨拶や身だしなみの指導が明確で納得できる」と答える生徒・保護者 85%以上。</li> <li>自身が守るべきルールについて考えた生徒 80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>準備を終えて授業等に臨む生徒の割合が 93%。100%を目指したい。</li> <li>挨拶や身だしなみ等がしっかりしていると感じる生徒・保護者は共に 90%を超える、学校でのルールを意識している生徒の割合も目標を達成している。</li> </ul>	<b>B</b>	教務課 生徒課 各工学科 各学年
	<ul style="list-style-type: none"> <li>「学校生活が充実している」と答える生徒 80%以上。</li> <li>「掛工へ入学してよかったです」と答える生徒 85%以上。</li> <li>生徒が参加した学校生活改善への取組み実施。</li> <li>各科で一つ以上の外部機関等と連携した課題研究・実習の設定。</li> <li>各地域行事やボランティア活動に参加した生徒 70%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校生活が充実している、掛工へ入学して良かったと感じる生徒は 90%を超えた。</li> <li>各科で企業・地域との連携し課題研究や実習に取り組んでいる。また業務改善を継続的に実施している。</li> <li>部活動や委員会を中心に地域行事やボランティア活動に参加した。</li> </ul>	<b>A</b>	事務部 各工学科 各教科 各分掌 各学年 各委員会 各部活動
	・読書週間以外に 2 冊以上の本を読んだ生徒 60%以上。	<ul style="list-style-type: none"> <li>2 冊以上の本を読んだ生徒の割合が約 40%であった。3 年生は進路関係、1、2 年生は部活動の影響と思われる。</li> </ul>	<b>B</b>	図書課 各学級担任
オ  <b>「ものづくり」の魅力拡大に寄与する教育・広報啓発活動の展開</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>小、中学生が「ものづくり」を体験し魅力を感じる教育プログラムの開発と小・中学校、地域での実施。</li> <li>講座や学校説明会等に参加した児童生徒及び保護者数延べ 1,000 人以上。</li> <li>各種大会(エコラン、県ロボット等)での上位入賞。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>中学生対象のものづくり実習には 214 名が参加し、ものづくりの楽しさを感じることができた。</li> <li>オープンスクール、文化祭、体験入学など生徒・保護者の参加数は、合計 1400 人を超えた。</li> <li>大会で上位入賞を認め全国大会に出場した。</li> </ul>	<b>A</b>	管理職 各工学科 広報情報 ものづくり室
	<ul style="list-style-type: none"> <li>出前講座、出前授業、巡回展示他、広報活動の検証と実施。</li> <li>ホームページ・学校公式 Instagram の投稿発信 150 件以上。</li> <li>課題研究発表会を中学生、地域へ公開する。各科で 1 回以上課題研究の成果を校外で発信する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>各中学校での出前授業を複数回実施、本校教育活動の良さを中学生や保護者に説明した。</li> <li>学校広報としてインスタグラムを定期的に発信し 338 件を超えた。</li> <li>課題研究発表会を地域や企業に広く伝えた。</li> </ul>	<b>A</b>	広報情報 全教職員
カ  <b>生徒・教職員が安全・安心に授業や諸活動に取り組むことができ、地域や保護者から信頼される学校の教育環境整備</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「校内に悩み事などを話せる(相談できる)教員や仲間がいる」と答える生徒 75%以上。</li> <li>学校全体で 1 日あたりの欠席 6.0 人以下、遅刻 2.0 人以下、早退 1.0 人以下。</li> <li>支持的、支援的な生徒指導に対する研修の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「校内に悩み事などを話せる(相談できる)教員や仲間がいる」と答える生徒 88%を超えた。</li> <li>2 学期末で 1 日あたりの欠席 3.0 人、遅刻 0.8 人、早退 0.4 人。</li> <li>保護者対応を含め支持的支援的な生徒支援の研修を実施した。</li> </ul>	<b>A</b>	教務課 教育相談室 保健環境課 職員研修 全教職員

様式第3号

取組目標	成果目標	達成状況	評価	担当部署
キ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒・保護者 80%以上。</li> <li>・校内清掃が行き届いていると答える生徒 80%以上。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「校内が安全に整備、整頓されている」と答える生徒 85%、保護者 90%。</li> <li>・校内清掃が行き届いていると答える生徒 84%。</li> </ul>	A	事務部 保健環境課 各工学科 全教職員
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練の年3回以上実施。</li> <li>・日常の振り返りに基づく安全教育の毎月実施。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防災訓練を年3回定期的に実施し、防災意識の高揚に努めた。</li> </ul>	A	総務課 各工学科 各学年
学科・教科・分掌を超えた業務の平準化・効率化の推進と働き方改革	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人当たりの年間時間外在校時間 20%削減。</li> <li>・各学科・教科・分掌で業務の平準化又は効率化に向けた提案1件以上。</li> <li>・一人当たりの年間の休暇取得時間 100時間以上。</li> <li>・ワークライフバランスを活用できたと答える教職員 100%。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今年度の一人当たりの時間外在校時間の昨年度比は約 91% であった。約 9 % の削減であり 20 % 削減に向け取組や声掛けを重ねていく。</li> <li>・分掌、学科、学年等に業務改善と業務の効率化を呼びかけている。</li> <li>・年次有給休暇や夏季休暇などの取得は 100 時間を超えた。今後も職場と家庭の両立を達成できる職場環境を整備する。</li> </ul>	B	管理職 各工学科 各教科 各分掌 各学年 事務部